

2009年3月期中間決算説明会

電気興業株式会社
2008年11月21日

1. 中間決算ハイライト

2. 主要3事業の動向

3. 通期見通し

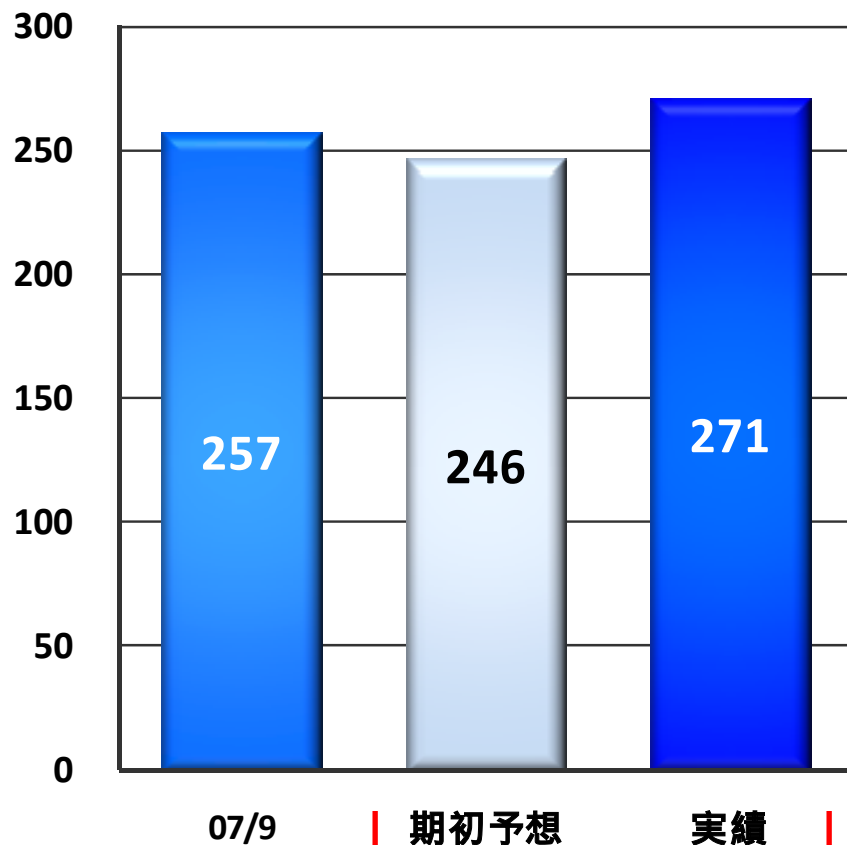
1. 中間決算ハイライト

連結決算の要約

連結売上高

前年同期比: **5.7%** 増収
期初予想比: **10.3%** 増収

(億円)

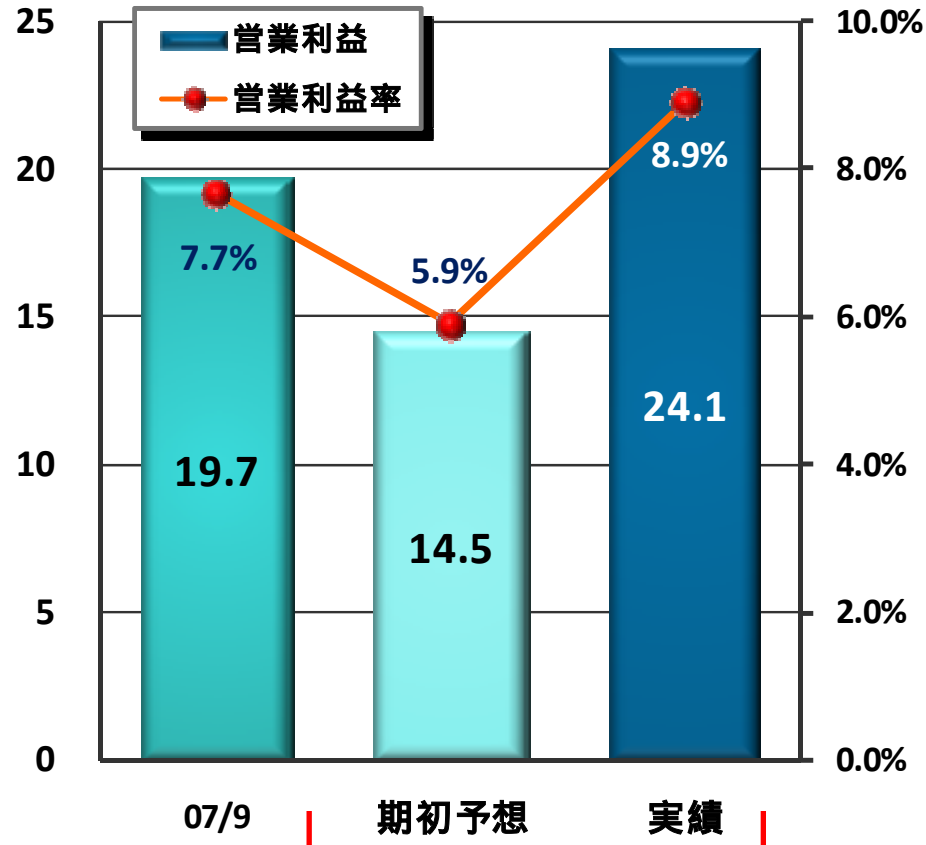


08/9月期

連結営業利益

前年同期比: **22.6%** 増益
期初予想比: **66.4%** 増益

(億円)



08/9月期

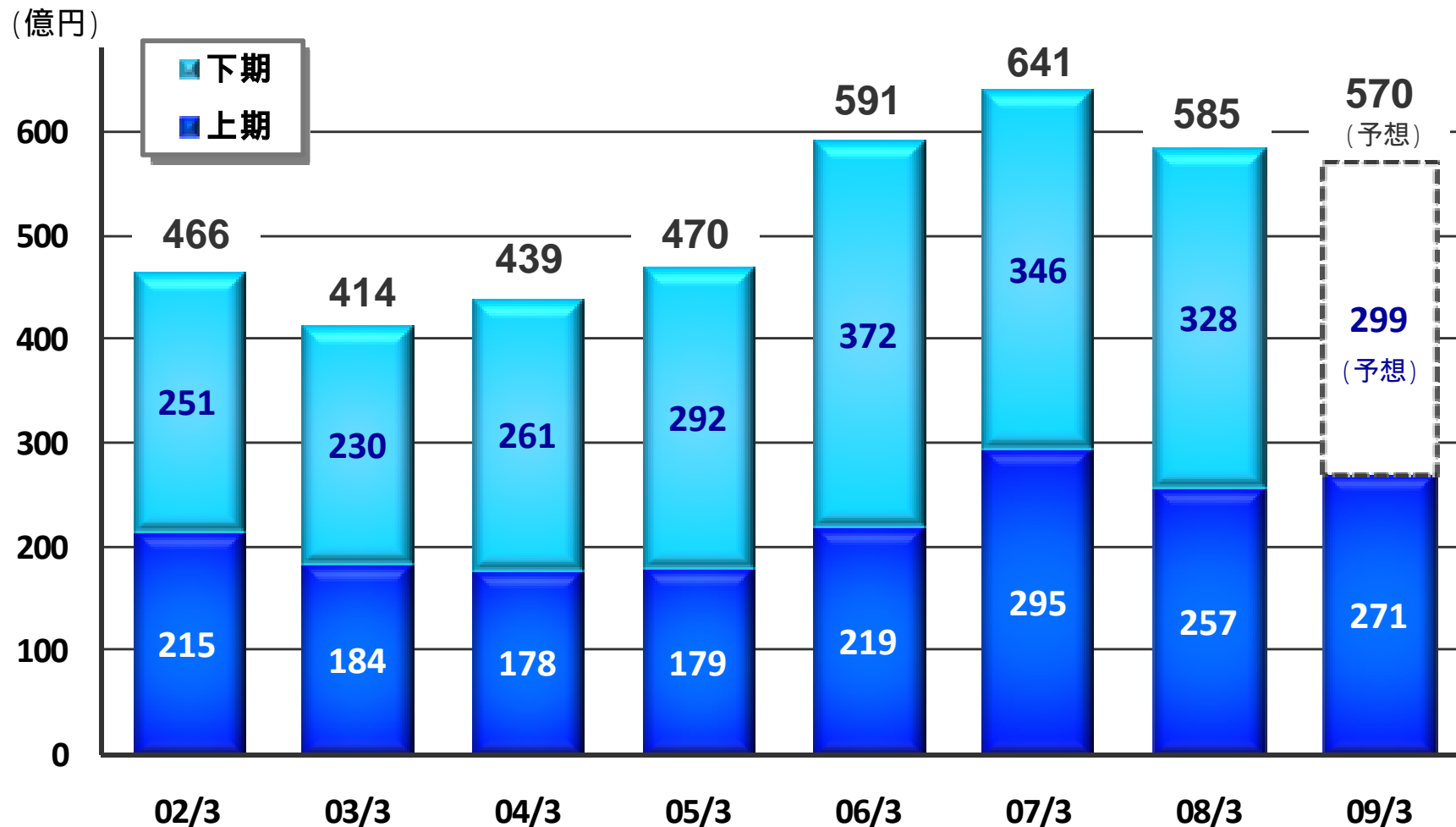
損益計算書の概況【連結】

(単位：百万円)

連 結	2007/9	2008/9	増減額	増減率
売上高	25,675	27,128	1,453	5.7%
売上総利益	4,698	5,181	483	10.3%
営業利益	1,968	2,413	445	22.6%
売上高営業利益率	7.7%	8.9%		
経常利益	2,211	2,608	397	18.0%
売上高経常利益率	8.6%	9.6%		
中間純利益	1,249	1,445	196	15.7%

売上高の推移【連結】

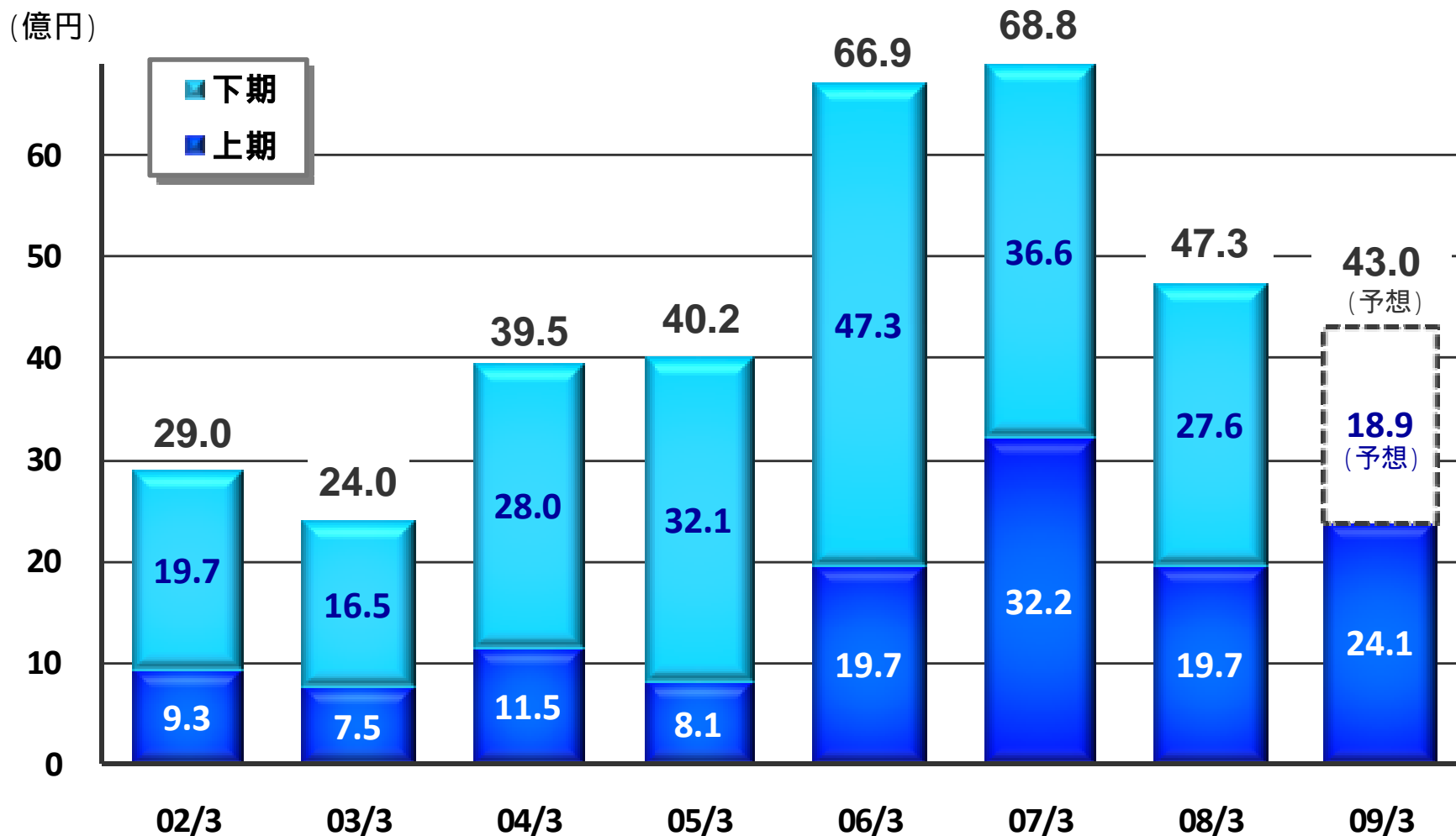
- 中間売上高としては07/3月期に次ぐ高水準



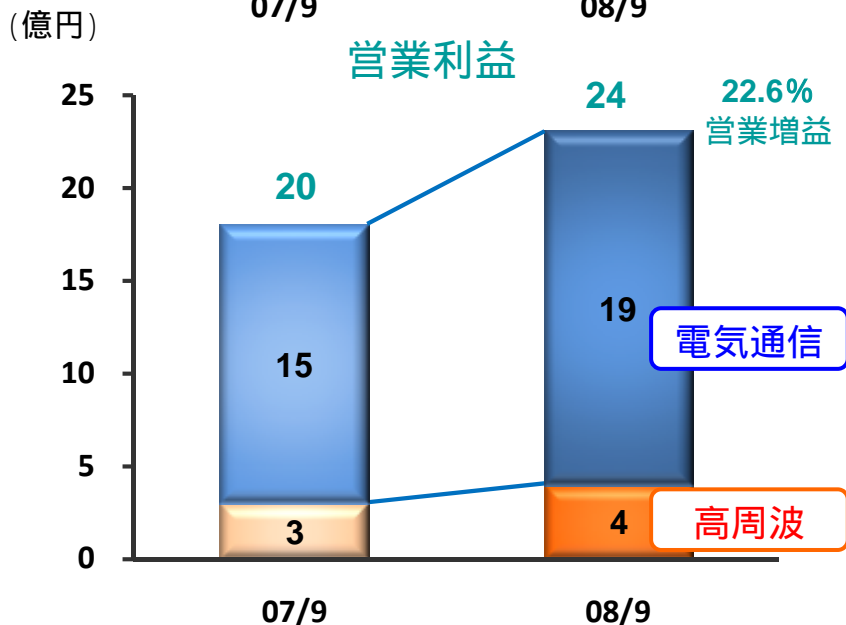
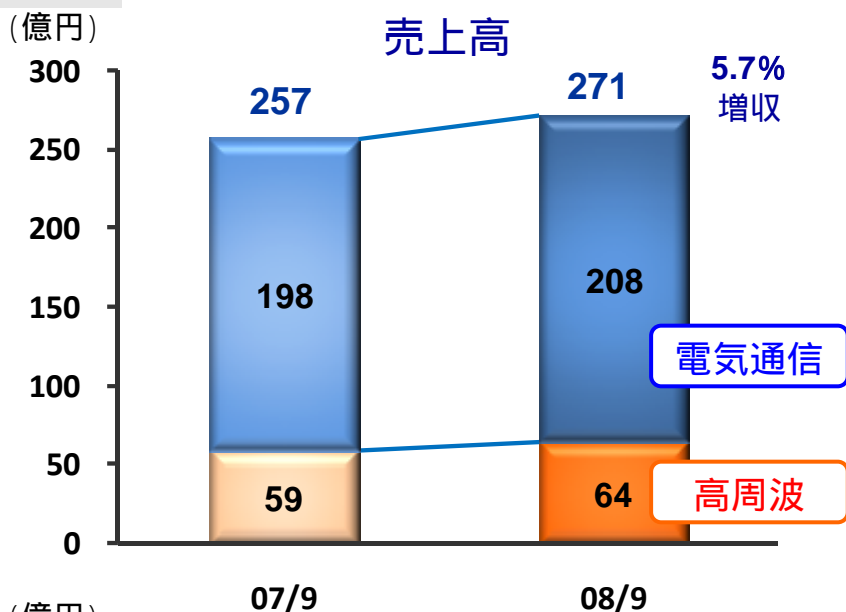
営業利益の推移【連結】

■ 中間営業利益としても07/3月期に次ぐ高水準

(億円)



セグメント別業績【連結】



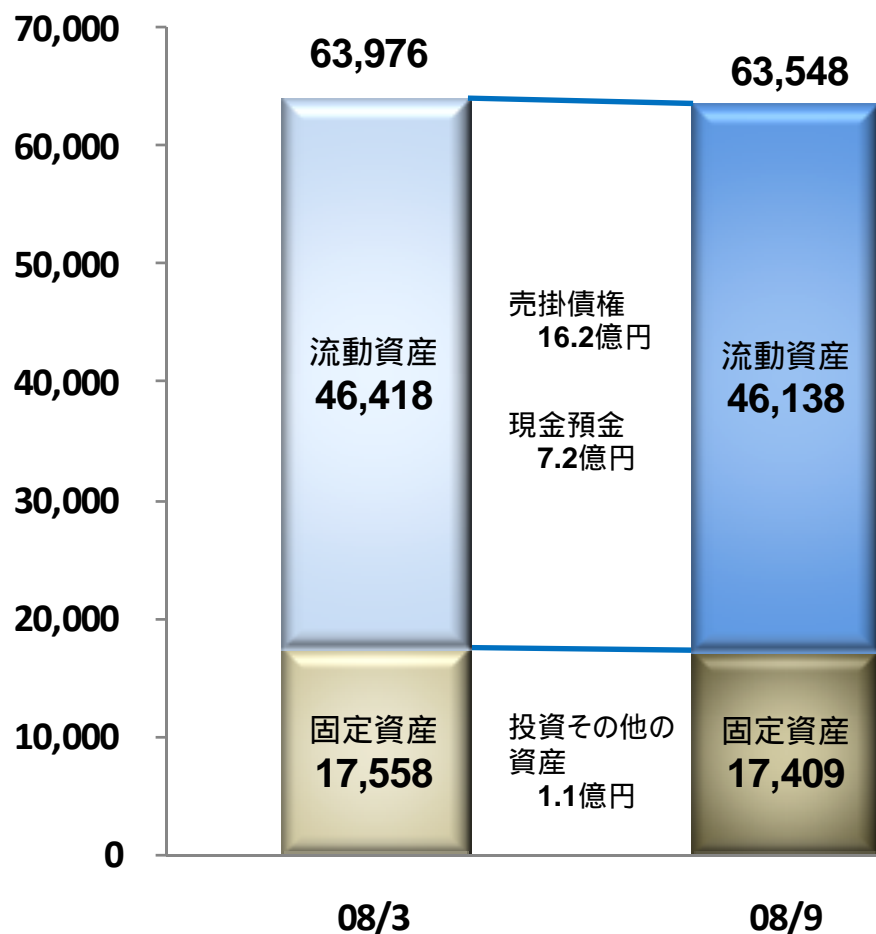
(単位：百万円)

連結	07/9	08/9	増減額	増減率
売上高	25,675	27,128	1,453	5.7%
電気通信	19,767	20,767	1,000	5.1%
高周波	5,894	6,353	459	7.8%
営業利益	1,968	2,413	445	22.6%
電気通信	1,468	1,941	473	32.2%
高周波	264	384	120	45.5%
営業利益率	7.7%	8.9%		
電気通信	7.4%	9.3%		
高周波	4.5%	6.0%		

貸借対照表の概況【連結】

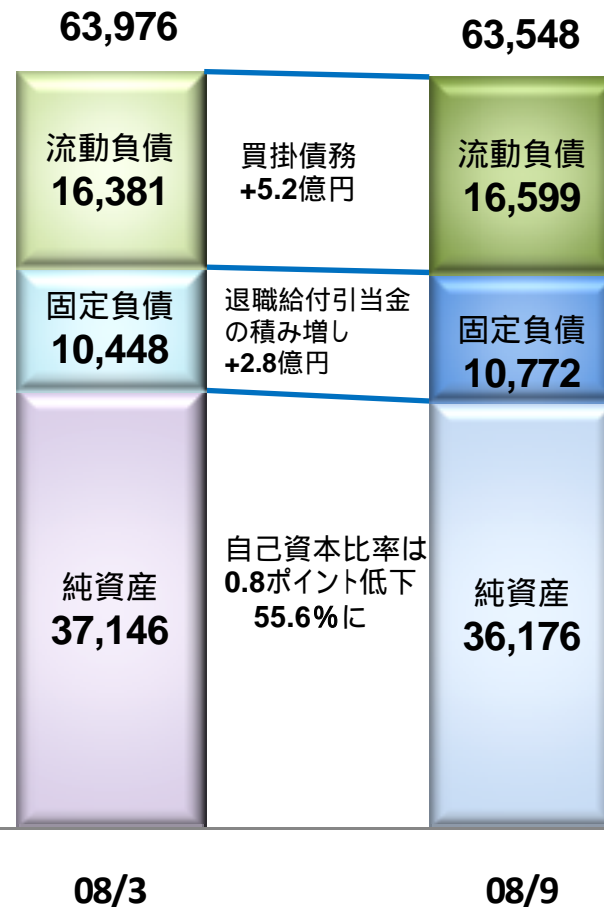
資産の部

(単位:百万円)



負債・純資産の部

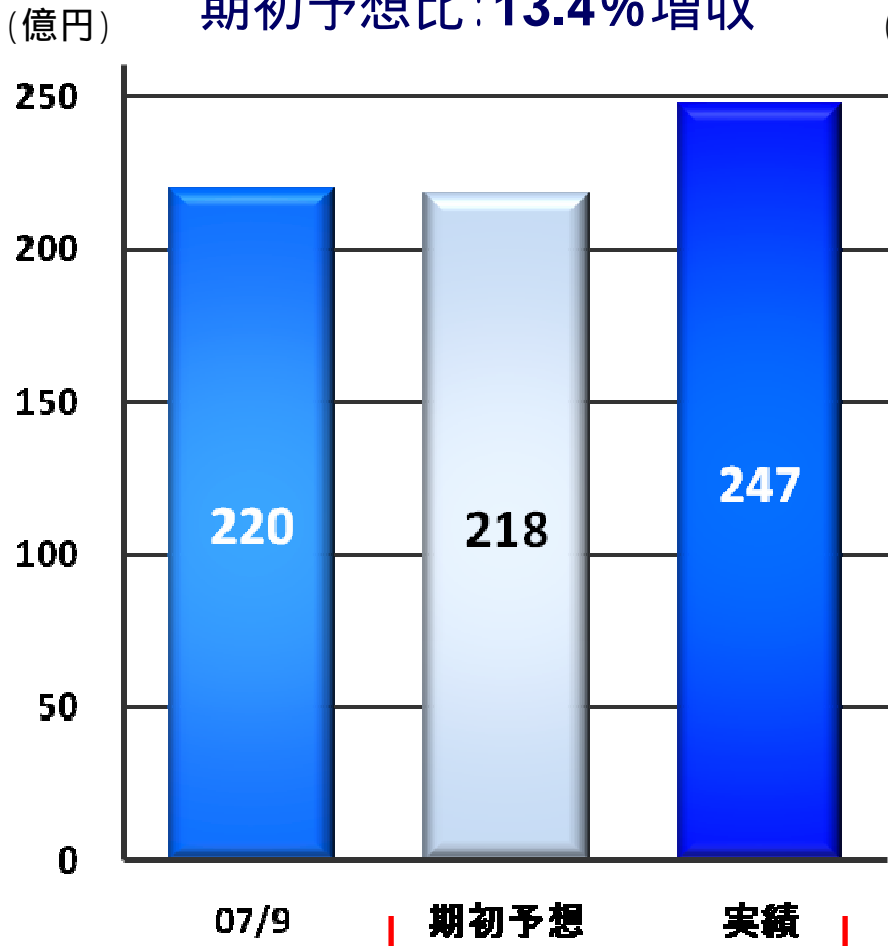
(単位:百万円)



単体決算の要約

単体売上高

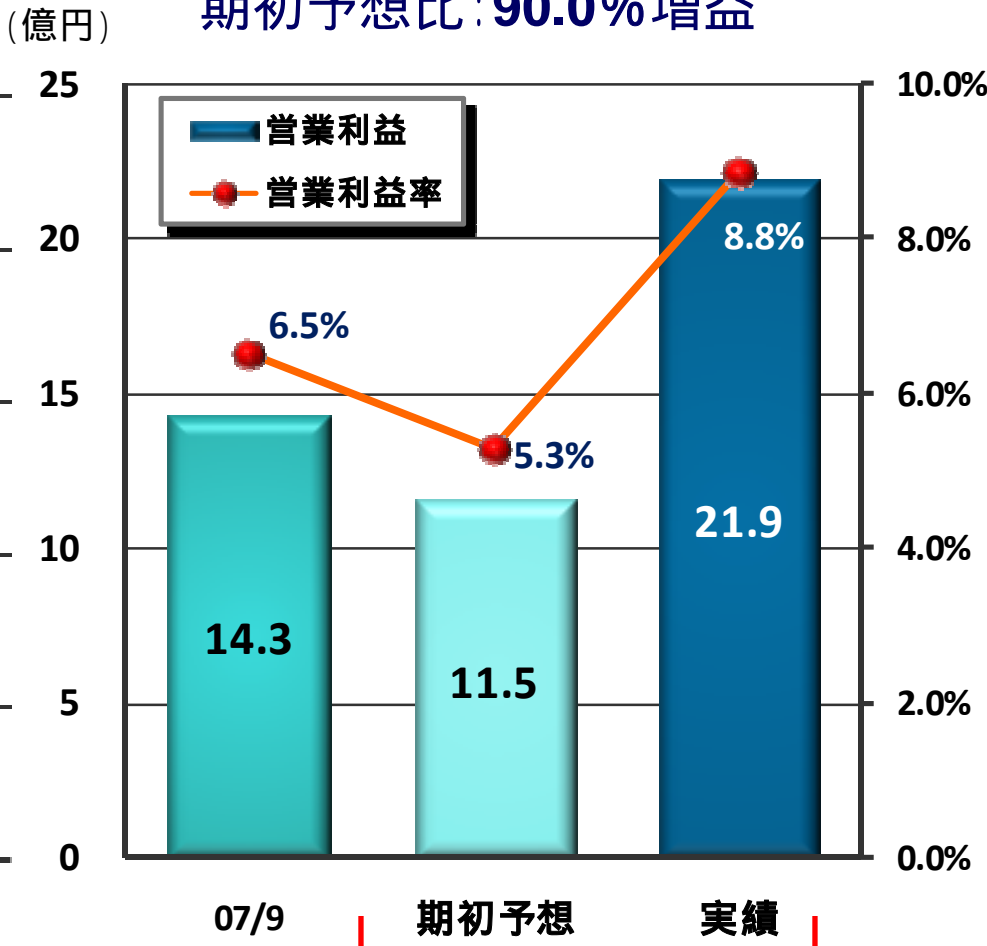
前年同期比: **12.5%** 増収
期初予想比: **13.4%** 増収



08/9月期

単体営業利益

前年同期比: **52.6%** 増益
期初予想比: **90.0%** 増益



08/9月期

損益計算書の概況【単体】

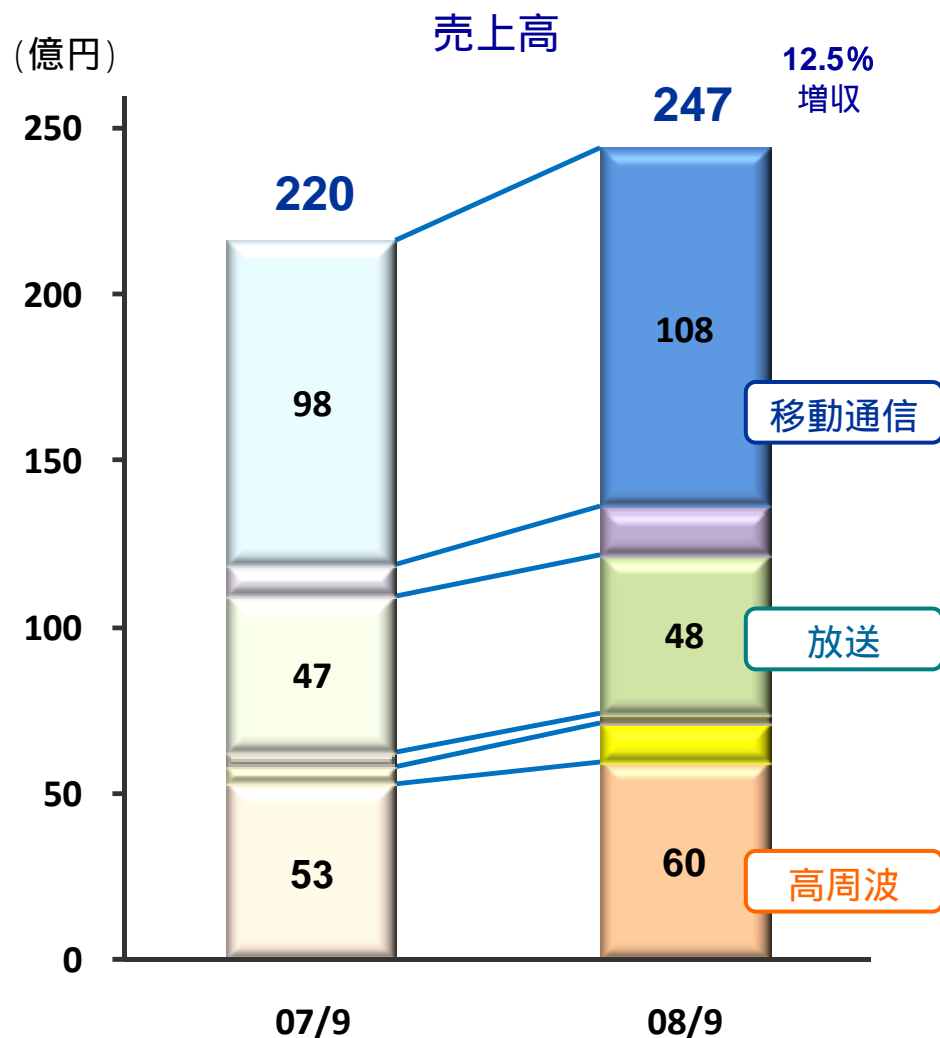
(単位：百万円)

単 体	2007/9	2008/9	増減額	増減率
売上高	21,966	24,717	2,751	12.5%
売上総利益	3,563	4,343	780	21.9%
営業利益	1,432	2,185	753	52.6%
売上高営業利益率	6.5%	8.8%		
経常利益	1,635	2,361	726	44.4%
売上高経常利益率	7.4%	9.6%		
中間純利益	903	1,322	419	46.4%

セグメント別売上高【単体】

■ 移动通信、放送、高周波の主要3事業とも前年同期比で増収

(単位：百万円)



単体	07/9	08/9	増減額	増減率
売上高	21,966	24,717	2,751	12.5%
電気通信	16,367	18,411	2,044	12.5%
移动通信	9,750	10,775	1,025	10.5%
固定無線	921	1,459	538	58.4%
放送	4,747	4,750	3	0.1%
有線放送	435	256	-179	-41.1%
その他	513	1,167	654	127.5%
高周波	5,280	5,972	692	13.1%
誘導加熱装置	3,916	4,614	698	17.8%
熱処理加工	1,363	1,358	-5	-0.4%

2. 主要3事業の動向

キャリア各社による設備投資は堅調に推移

- ◆ 設備投資需要はエリアの拡大から通信品質の向上のための設備投資へと変化

アンテナの納品の需要は高水準を維持

- ◆ 800MHz帯、1.7GHz帯、2GHz帯など周波数帯を有効活用

鉄塔・工事に関する需要は縮小傾向

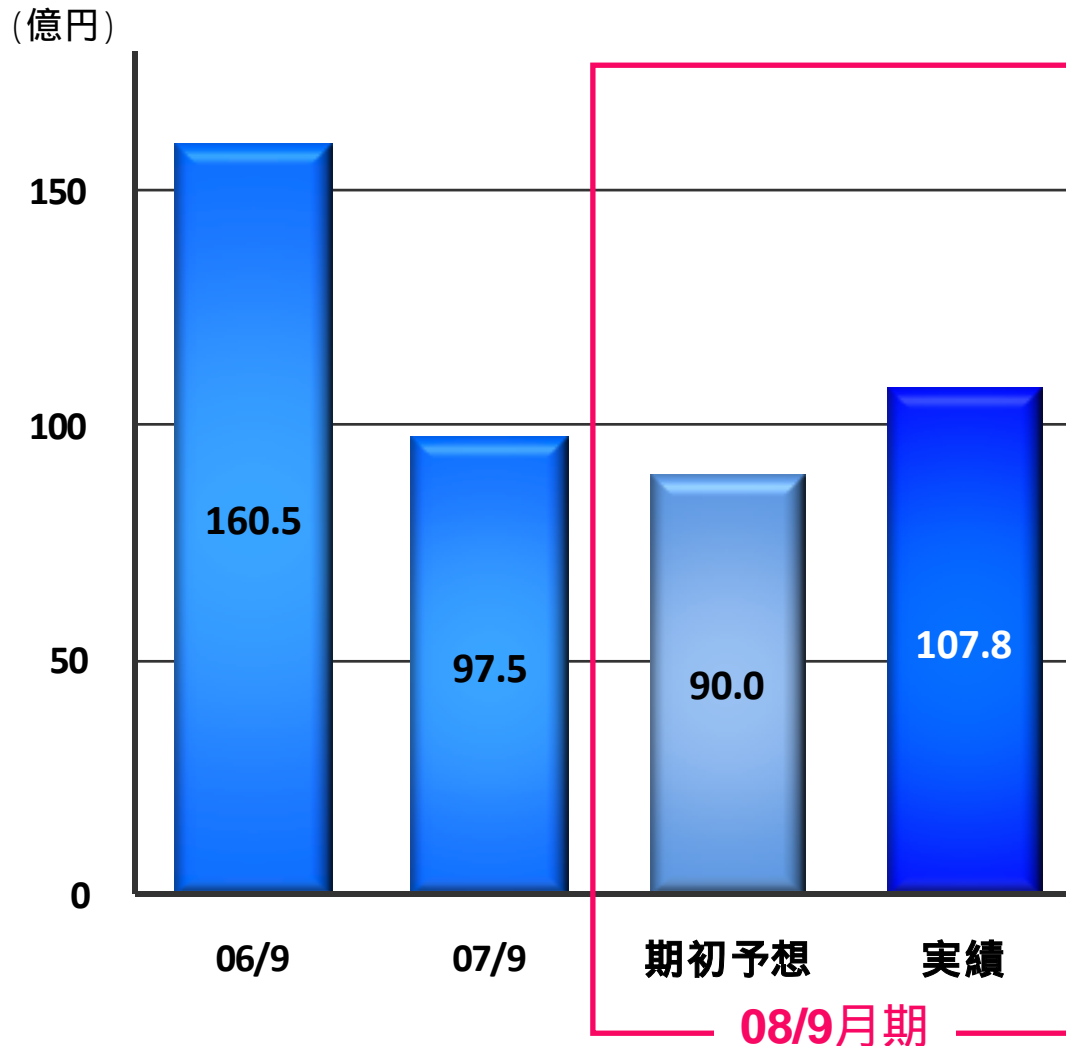
- ◆ 基地局の小型化は継続し、鉄塔建設を伴う大型の基地局の建設は減少

アンテナの納品を中心に前倒し傾向

- ◆ 今期におけるキャリアによる設備投資計画は、前倒しの傾向

移動通信 - 上期の業績

移動通信上期売上高【単体】



鉄塔・工事の縮小傾向から
**08/9月期の期初予想は07/9
月比で7.7%減収の90.0億円
を予想**

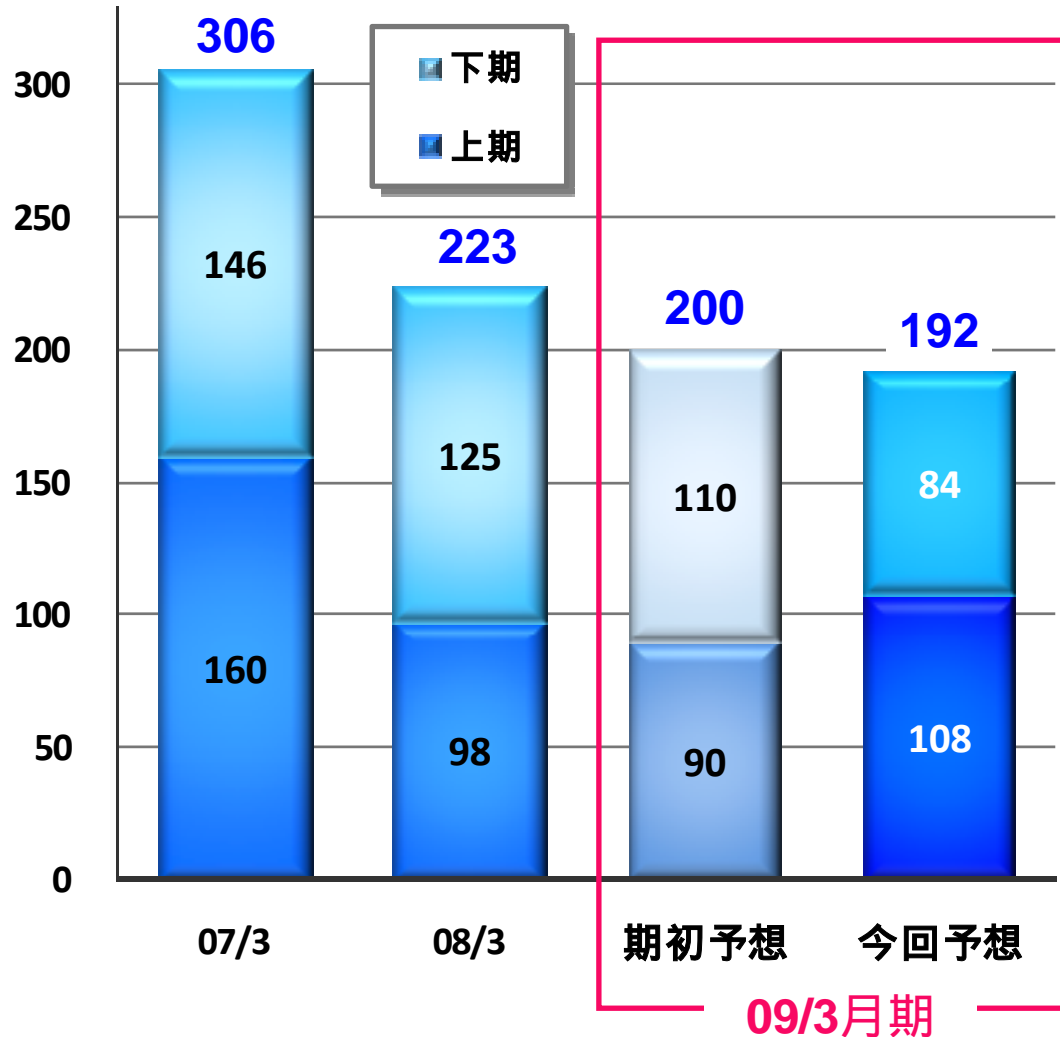
アンテナ等の納品の前倒し傾
向から、**08/9月期売上高は
期初予想比19.7%増の107.8
億円に増加**

**08/9月期売上高は前年同期
比でも10.5%増収**

移動通信 - 通期の見通し

移動通信売上高推移【単体】

(億円)



期初時点では、**09/3**月期の売上高は中間期予想同様に工事・鉄塔の減少を見込んで**200**億円を予想

上期に前倒しになったこと、鉄塔・工事の縮小傾向が強まっていること等により、下期は当初予想より減額の見込み

アンテナの需要水準は高いものの、競争は激化。**09/3**月期の見通しは前期比**14.1%**減収の**192**億円を予想

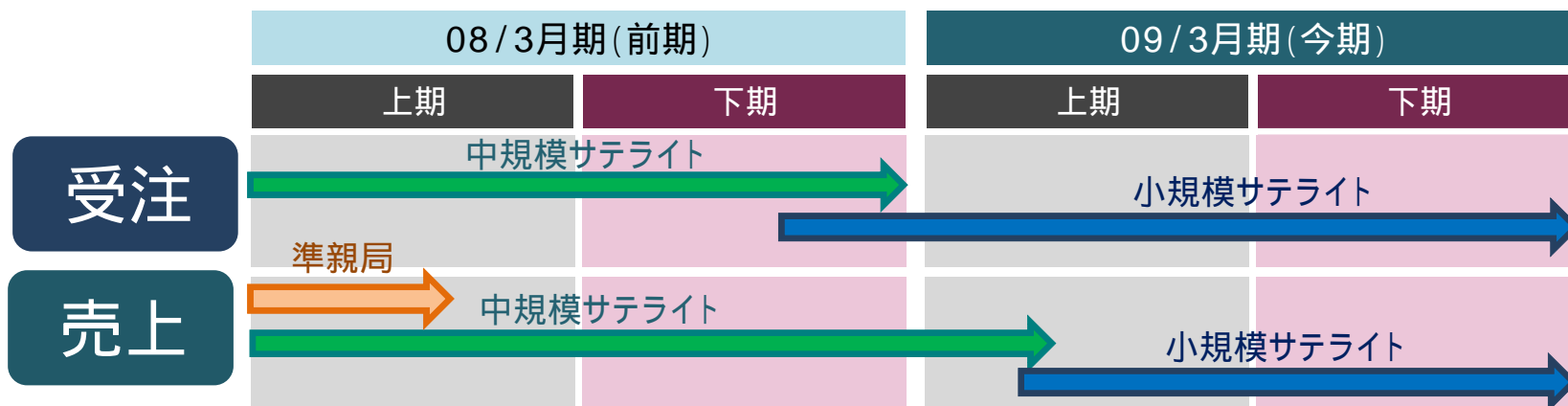
放送各社による設備投資は急ピッチに展開

- ◆ 2011年7月の地上デジタル放送への完全切替に向けて、設備投資は急ピッチに

中継局の売上は小型局が主流に

- ◆ 準親局・中規模サテライトの建設は完了し、現在は小規模サテライトが中心に

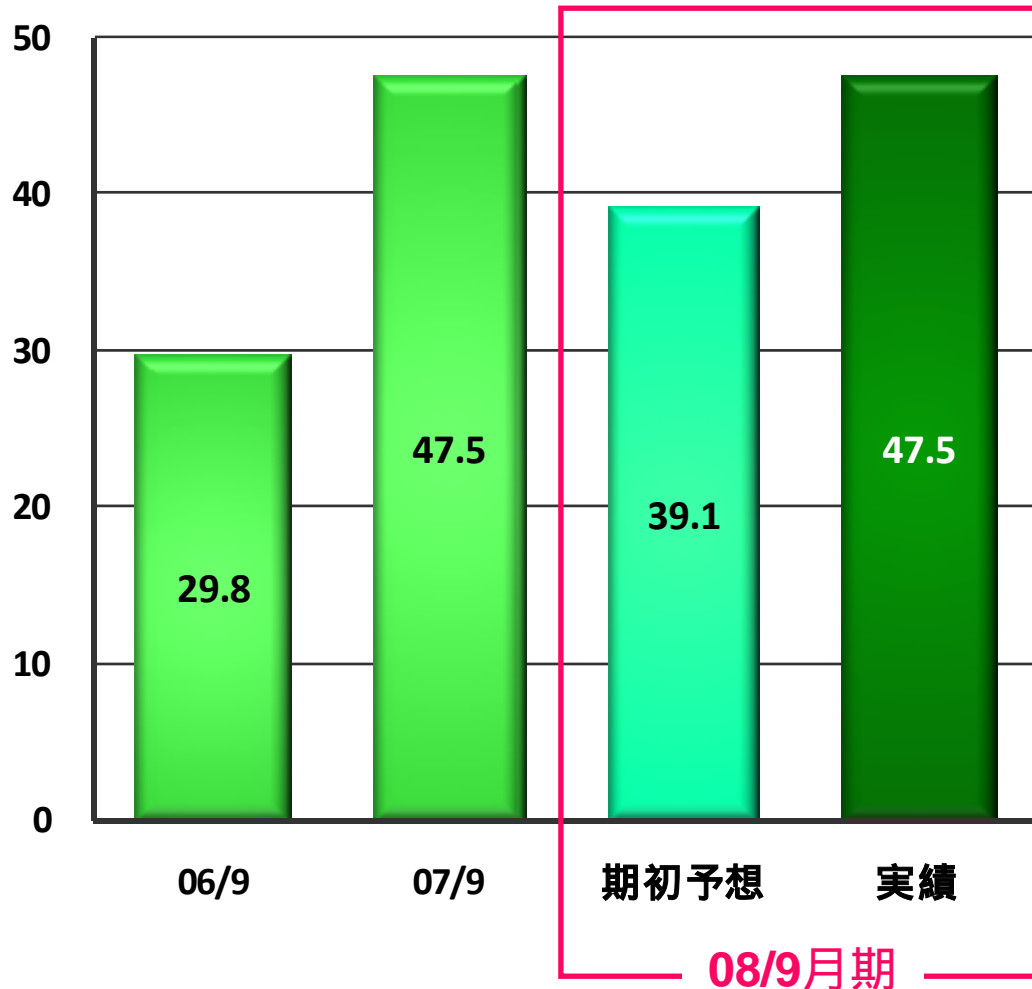
受注高・売上高の見通し



放送 - 上期の業績

(億円)

放送上期売上高【単体】



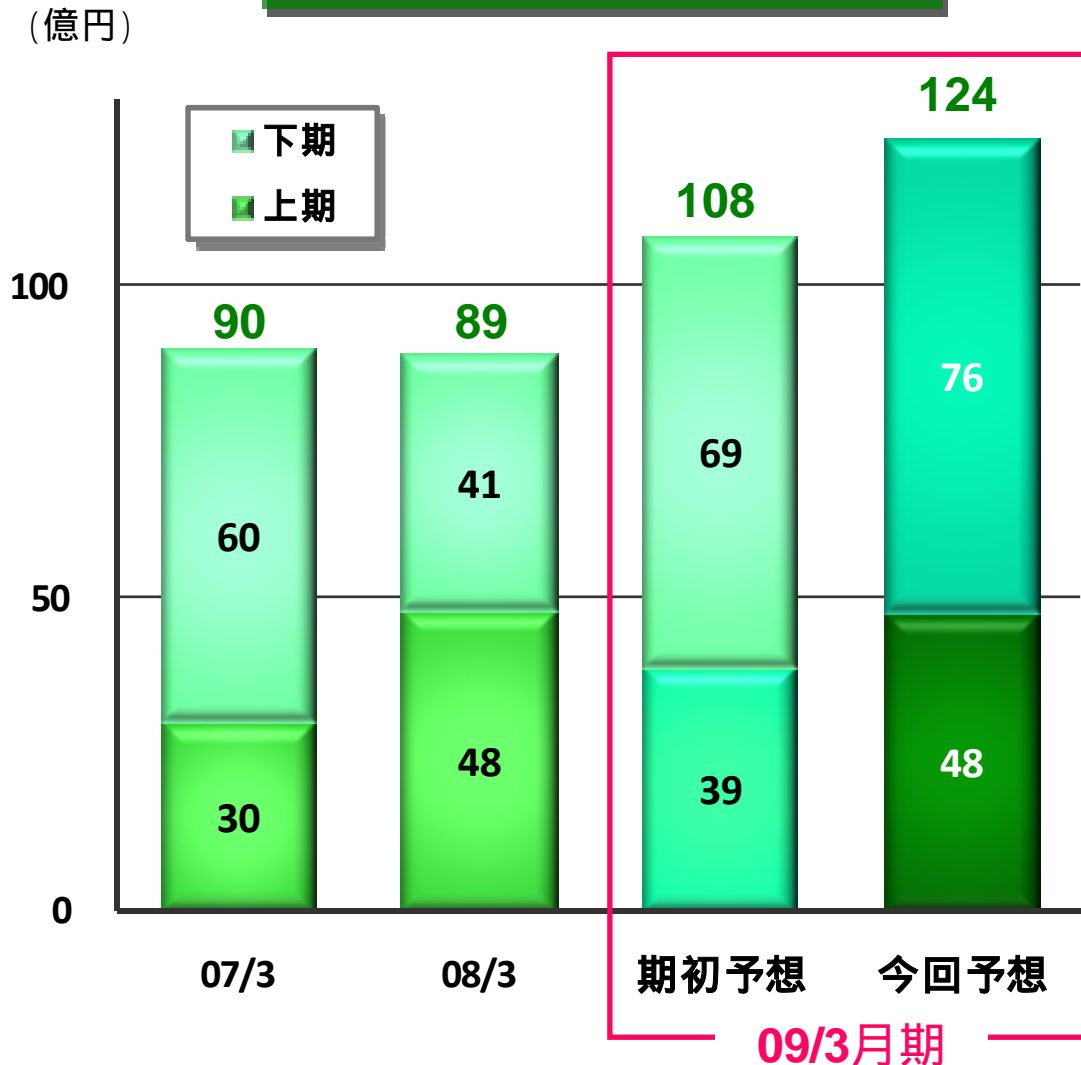
売上計上の前倒しが発生したことから、**07/9月期**(前年同期)の売上高は**47.5億円**と高水準を記録した

中継局の小型化、売上計上の下期偏重傾向から、**08/9月期**の期初予想は**39.1億円**を予想

08/9月期実績は、放送各社による地上デジタル向け設備投資が想定以上に進められたことにより、前年同期とほぼ同水準の**47.5億円**に

放送 - 通期の見通し

放送売上高推移【単体】



期初時点では、**08/3**月期からの繰越物件を考慮して、**108**億円の売上高を予想

放送各社による設備投資は下期も継続する見込み。**09/3**月期売上高予想は、前期比**39.2%**増収の**124**億円に修正

中継局の小規模化により、リードタイムが縮小されたことも今期の増収の要因

自動車関連業界の減速感は鮮明に

- ◆ 米国を中心とした海外景気の悪化から、自動車関連業界の減速感も鮮明に

上期における高周波関連の設備投資需要は継続

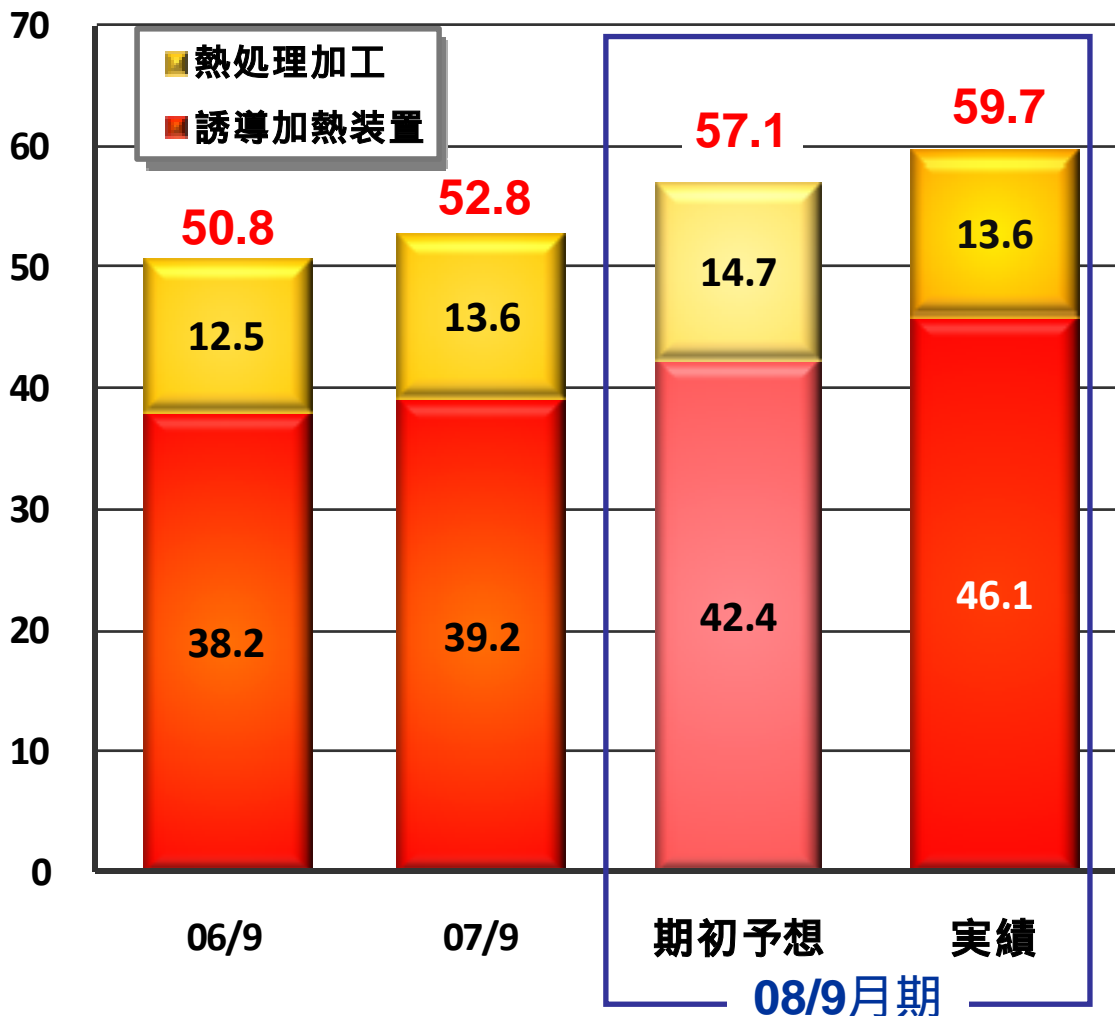
- ◆ 誘導加熱装置に対する需要は09/3月期中間期においては堅調に推移

自動車関連業界の減産から、受注環境は悪化

- ◆ 熱処理受託加工は、自動車関連業界の減産の影響が表面化

高周波 - 上期の業績

高周波上期売上高【単体】



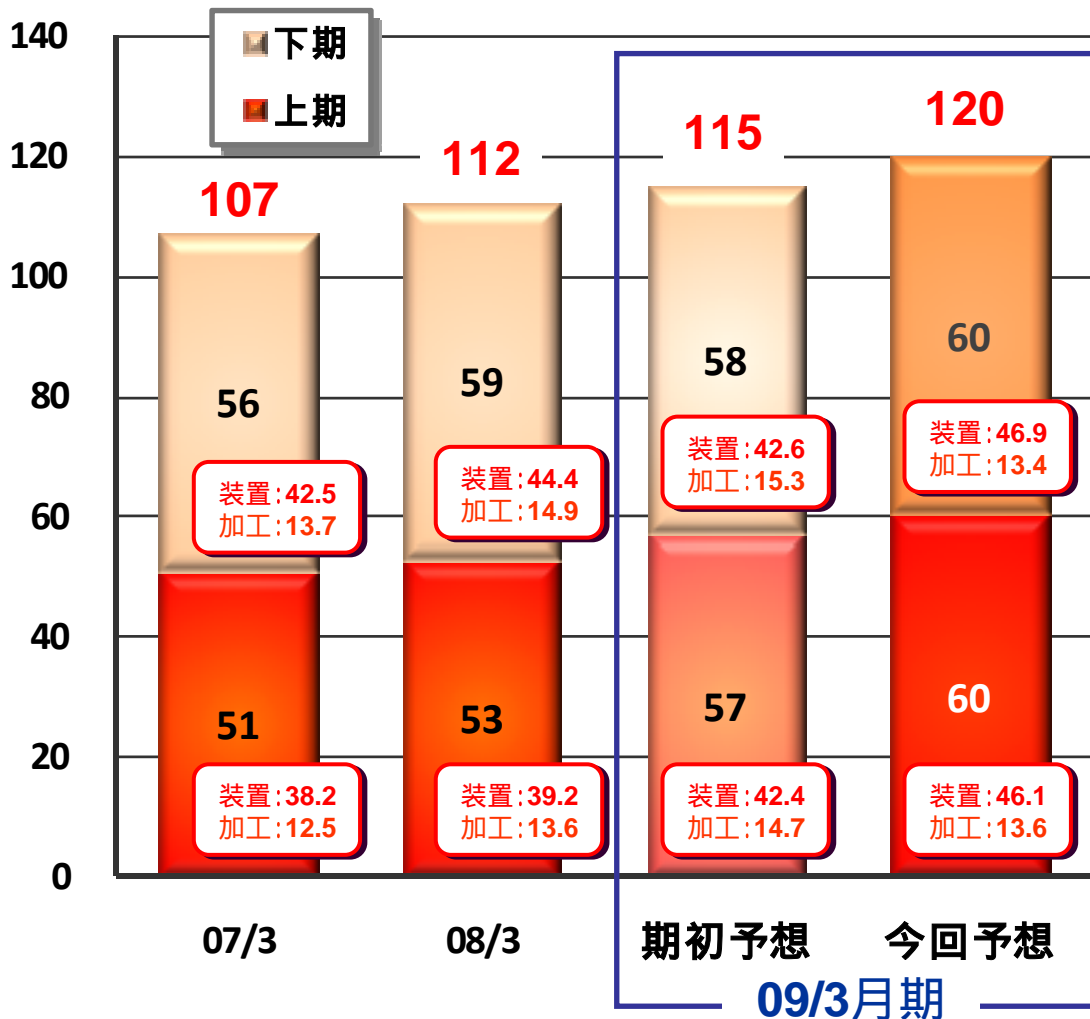
08/3月期末時点での受注残と自動車業界の好況が継続すると予測したことから、08/9月期の期初予想は、高周波部門で57.1億円を予想

誘導加熱装置は、08/9月期においては、関連業界の減速の影響を受けにくかったことにより、46.1億円と過去最大の売上高を達成

熱処理受託加工は、自動車関連業界における減産の影響から、期初予想に届かず、前年同期並みの13.6億円

高周波 - 通期の見通し

高周波売上高推移【単体】



期初時点における09/3月期の売上高予想は過去最高の115億円を予想

誘導加熱装置は受注環境の悪化にもかかわらず、前期比増収を達成。
通期予想額も85億円から93億円に増額修正

熱処理受託加工は自動車関連業界の影響が表面化。
通期予想額も30億円から27億円に減額修正

3. 通期見通し

実体経済の後退に伴い、事業環境は想定より悪化

- ◆世界的な金融危機は実体経済へと波及。設備投資需要にも影響

移動通信：価格競争の激化から下期環境は厳しく

- ◆工事・鉄塔の縮小傾向に加え、アンテナ等の製品の価格競争が激化

放送：設備投資需要の活況が継続

- ◆09/3月期中間期同様、デジタル放送向け設備投資は急ピッチで進捗

高周波：受注環境の悪化が鮮明に

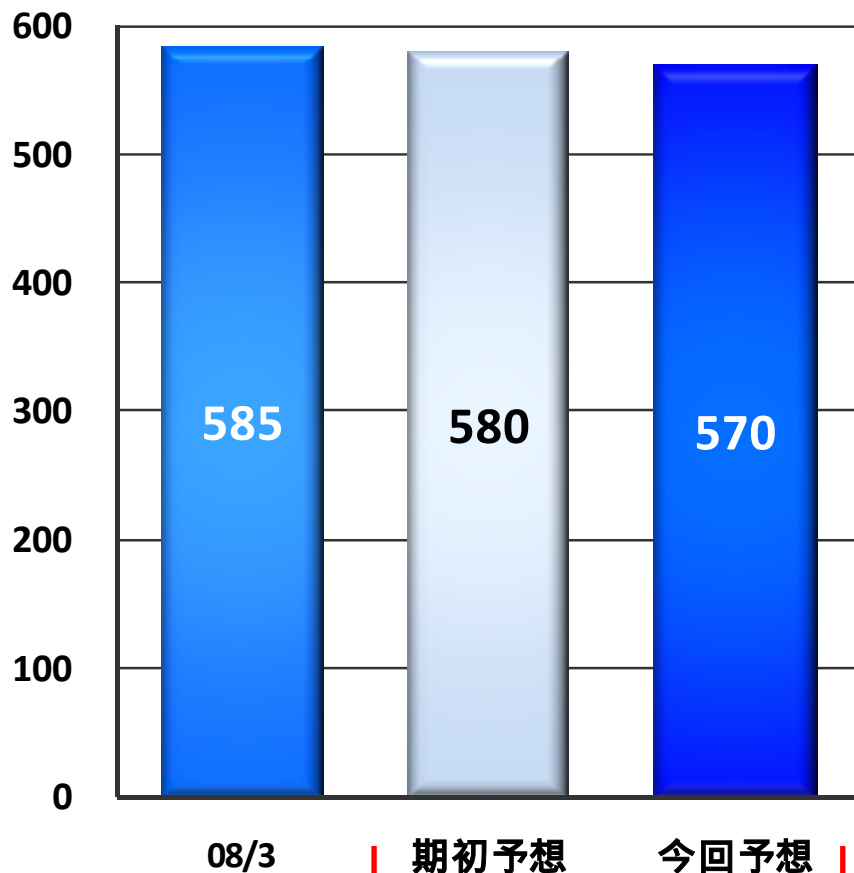
- ◆自動車関連業界の減産から、熱処理加工を中心に事業環境は悪化、誘導加熱装置にも影響

通期見通しの要約【連結】

連結売上高

前年同期比: **2.5%減収**
期初予想比: **1.7%減収**

(億円)

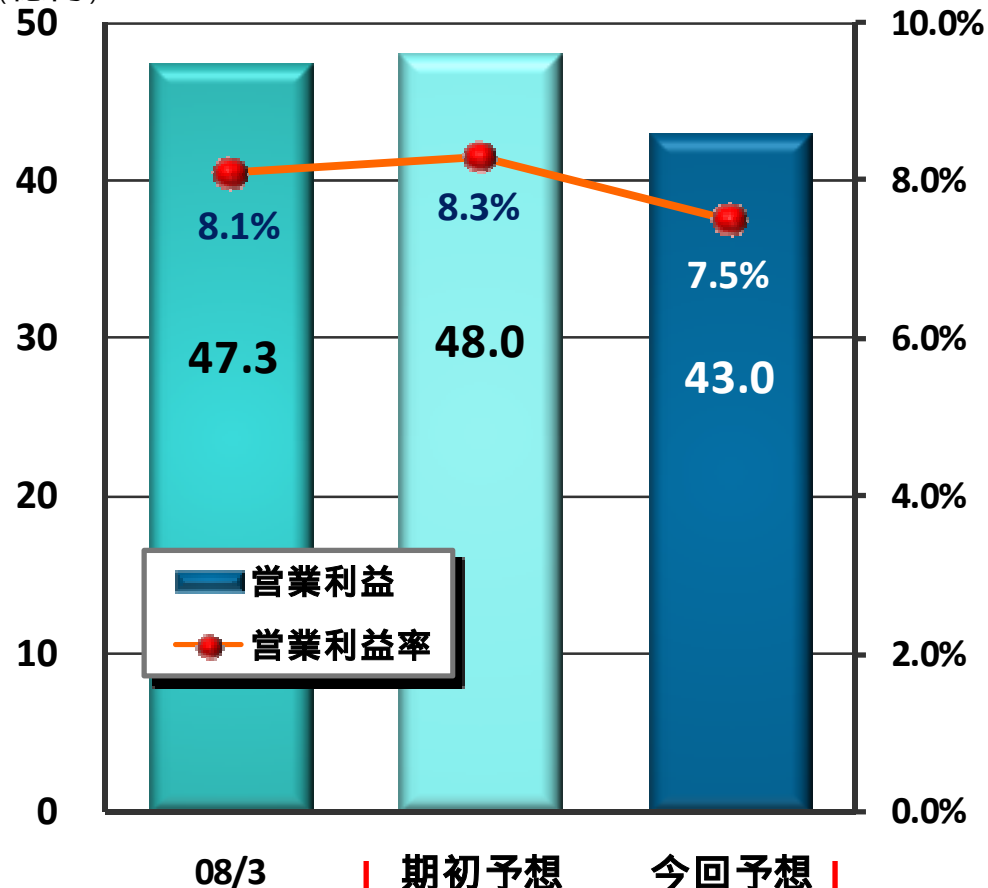


09/3月期

連結営業利益

前年同期比: **9.1%減益**
期初予想比: **10.4%減益**

(億円)



09/3月期

通期見通しの概況【連結】

(単位：百万円)

連 結	2008/3	2009/3(予)	増減額	増減率
売上高	58,465	57,000	-1,465	-2.5%
営業利益	4,732	4,300	-432	-9.1%
売上高営業利益率	8.1%	7.5%		
経常利益	5,095	4,500	-595	-11.7%
売上高経常利益率	8.7%	7.9%		
当期純利益	2,390	2,400	10	0.4%
ROE	6.5%	6.4%		

通期見通しの概況【単体】

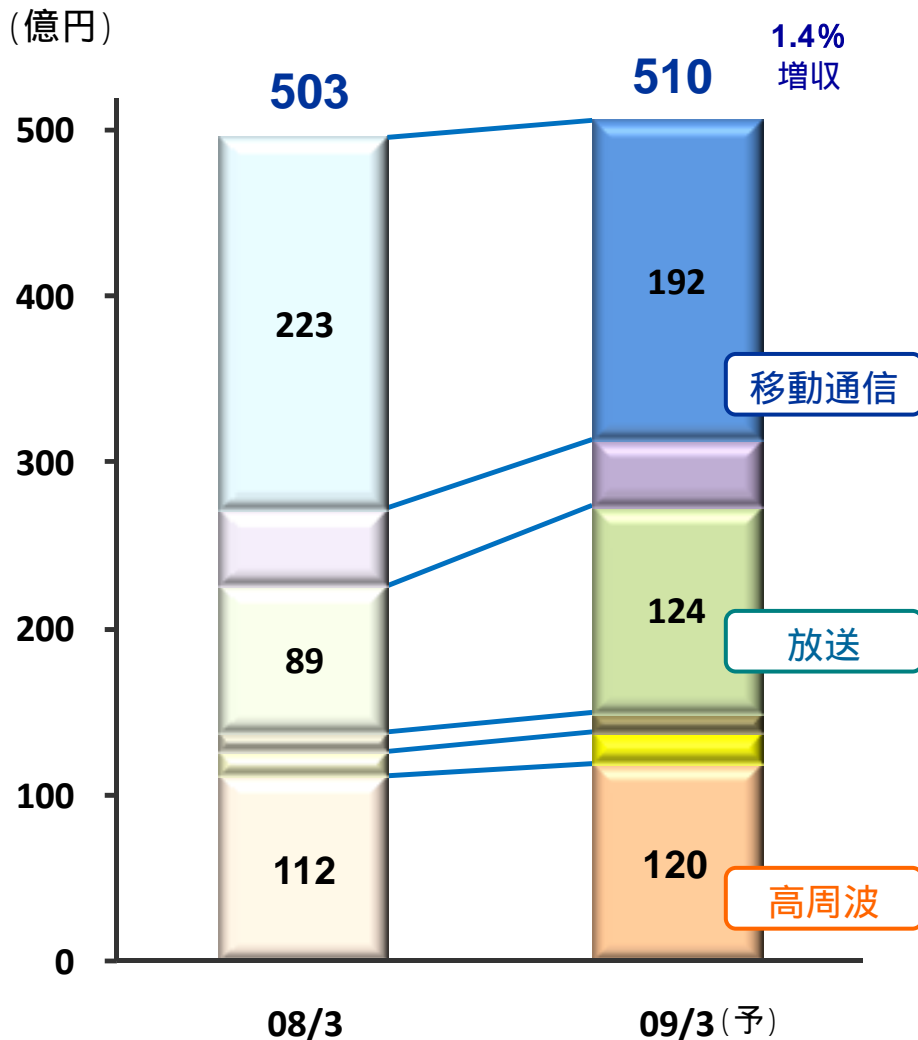
(単位：百万円)

単 体	2008/3	2009/3(予)	増減額	増減率
売上高	50,300	51,000	700	1.4%
営業利益	4,308	3,950	-358	-8.3%
売上高営業利益率	8.6%	7.7%		
経常利益	4,544	4,150	-394	-8.7%
売上高経常利益率	9.0%	8.1%		
当期純利益	2,411	2,300	-111	-4.6%
ROE	7.1%	7.0%		

セグメント別売上高見通し【単体】

- 移动通信は減収となるも、放送、高周波は増収の見込み

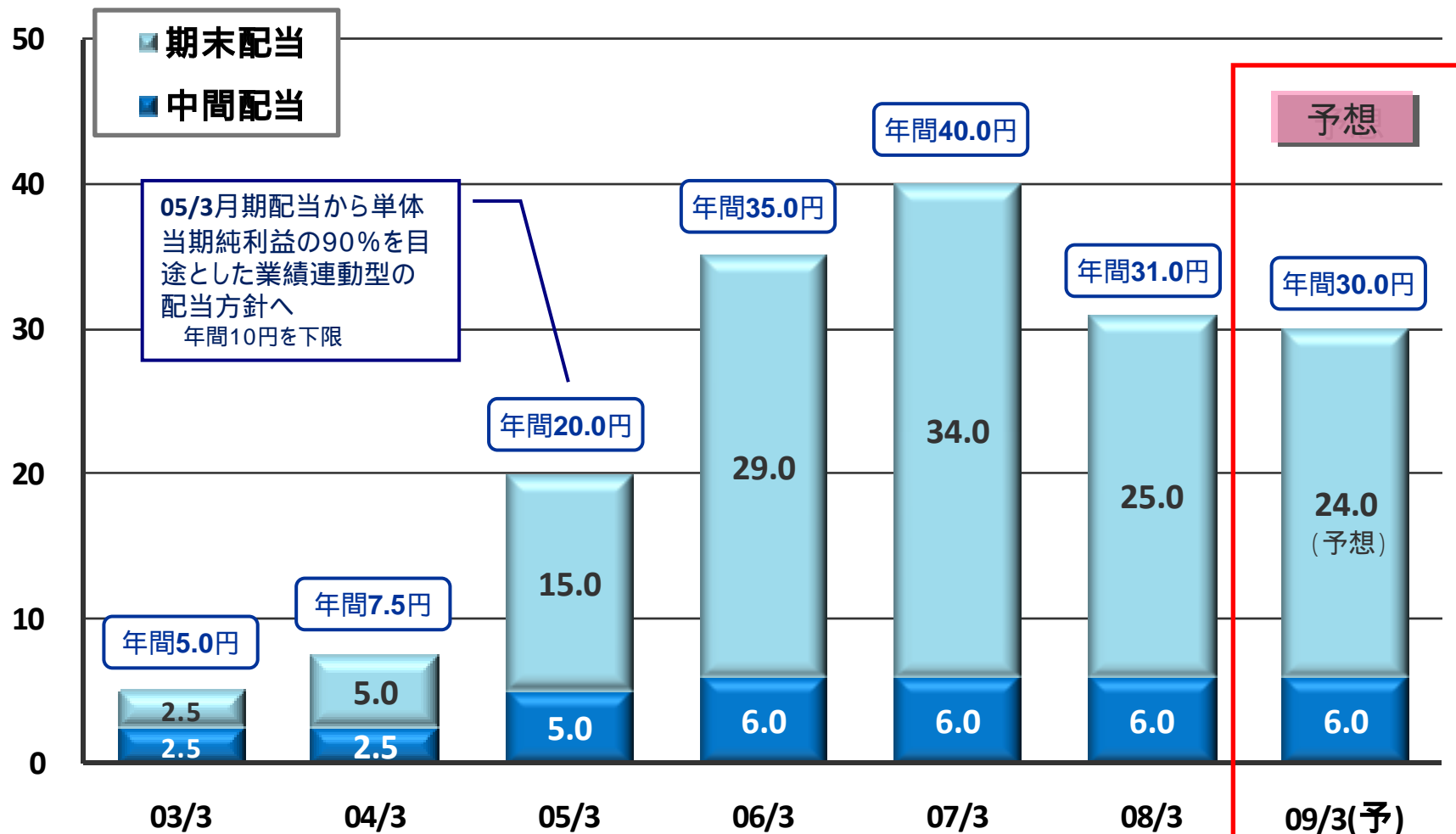
(単位：百万円)



単体	08/3	09/3(予)	増減額	増減率
売上高	50,300	51,000	700	1.4%
電気通信	38,425	39,000	575	1.5%
移动通信	22,340	19,200	-3,140	-14.1%
固定無線	4,565	4,000	-565	-12.4%
放送	8,911	12,400	3,489	39.2%
有線放送	1,093	1,200	107	9.8%
その他	1,513	1,800	287	19.0%
高周波	11,220	12,000	780	7.0%
誘導加熱装置	8,362	9,300	938	11.2%
熱処理加工	2,857	2,700	-157	-5.5%

■ 09/3月期も単体純利益の90%を目途とした配当方針を継続

(円)



この資料の数値のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、かかる予想値は、リスクや不確定要因を含むものであって、現実の業績は諸々の要因により、かかる予想値と異なってくる可能性があります。かかる潜在的リスクや不確定要因としましては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行などの変更等が含まれます。